

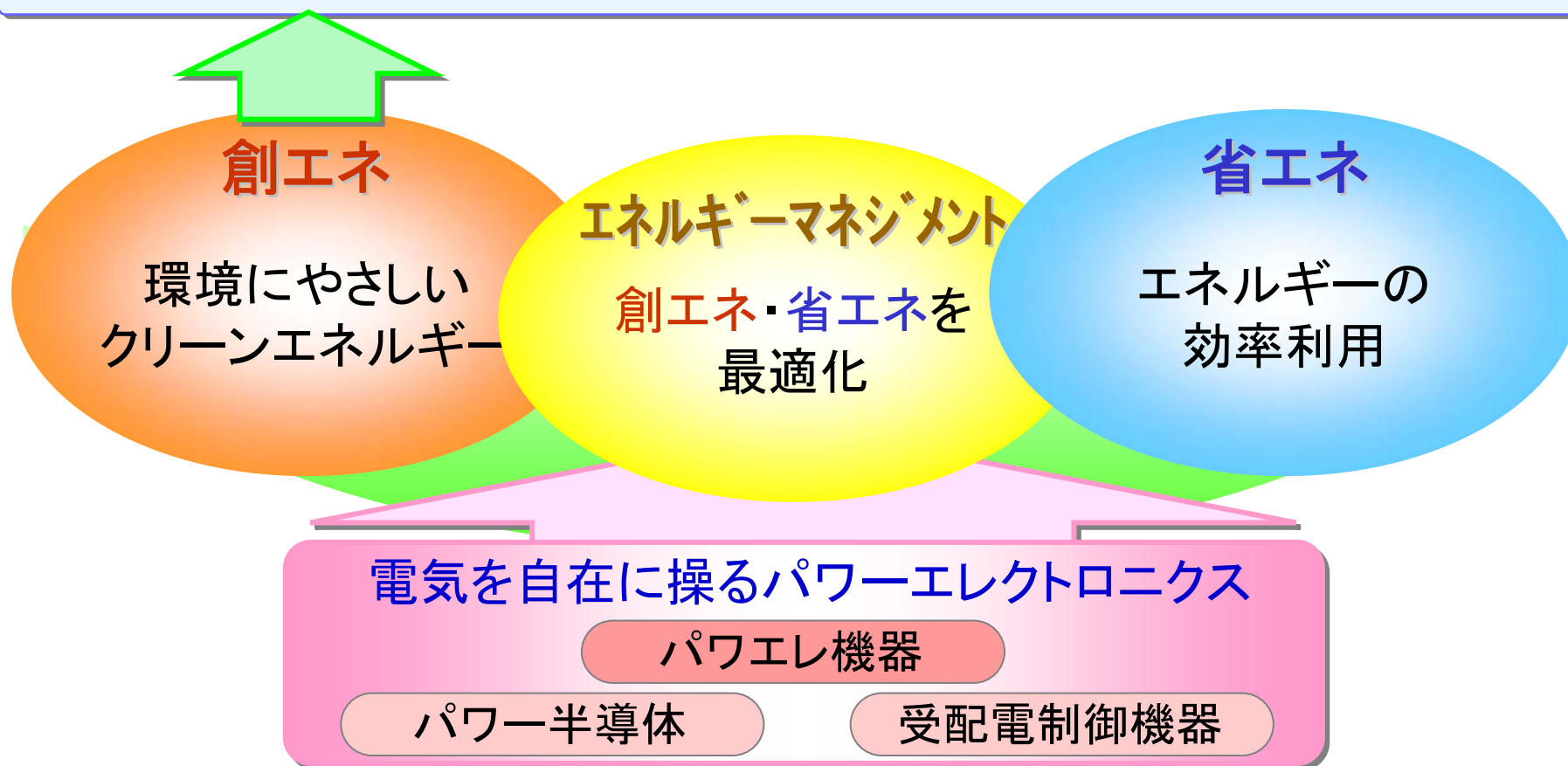
3カ年ローリングプラン エネルギー事業戦略

2011年11月17日
富士電機株式会社
エネルギー事業本部

- 事業概要
- 事業計画
- 事業戦略・重点施策

事業概要

「電力の安定供給」、「低炭素社会の構築」に貢献
(火力発電、地熱発電、水力発電、新エネルギー、原子力分野)



発電プラント事業

事業	概要	主な取り組み
火力発電	<ul style="list-style-type: none"> ● 中容量火力発電 ● コンバインドサイクル発電 ● バイオマス、太陽熱発電 	<ul style="list-style-type: none"> ● 火カタービンの高効率化 ● コンバインドサイクル発電プラント (2x250MW) 建設中 ● 米国バイオマスに注力
地熱発電	<ul style="list-style-type: none"> ● フラッシュ地熱発電 ● バイナリー地熱発電 	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術開発と世界シェア拡大 ● バイナリー発電のシリーズ化
水力発電	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型水力発電 ● マイクロ水力発電 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型揚水発電に注力 ● マイクロ水力発電の推進
新エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料電池 ● 風力発電 PM発電機 	<ul style="list-style-type: none"> ● 震災対応型と低酸素供給システムに注力 ● ダイレクトドライブ3MWプロト機完成

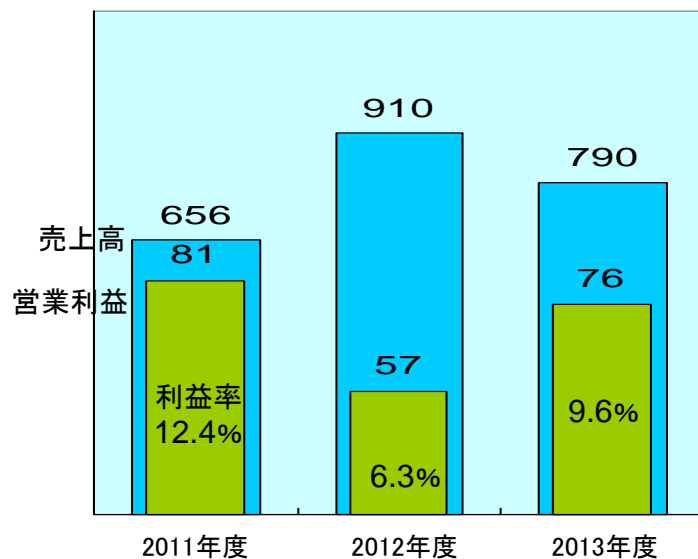
原子力・放射線事業

事業	概要	主な取り組み
原子力	<ul style="list-style-type: none"> ● 核燃料サイクル分野 ● 放射性廃棄物処理施設 ● 次世代高温ガス炉(開発) 	<ul style="list-style-type: none"> ● J-Mox燃料製造設備製作中 ● 除染作業向け設備に注力 ● 米国 高温ガス炉概念設計に参加
放射線	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人線量管理システム ● 放射線監視・管理システム ● 医療施設安全管理システム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内シェア拡大と海外市場参入 ● 震災復興支援事業に注力 ● 高度医療放射線管理システムに注力

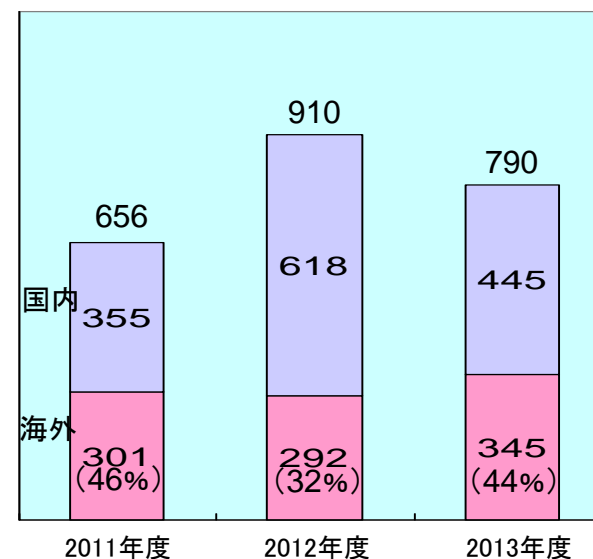
事業計画

- 発電プラント
 - ・技術革新により環境にやさしい高効率中容量火力発電の受注・売上を拡大
 - ・バイナリーとのハイブリッド型で地熱発電の受注・売上を拡大
- 放射線
 - ・放射線管理システムによる復興支援と海外向け新機種開発

売上高・営業利益(億円)



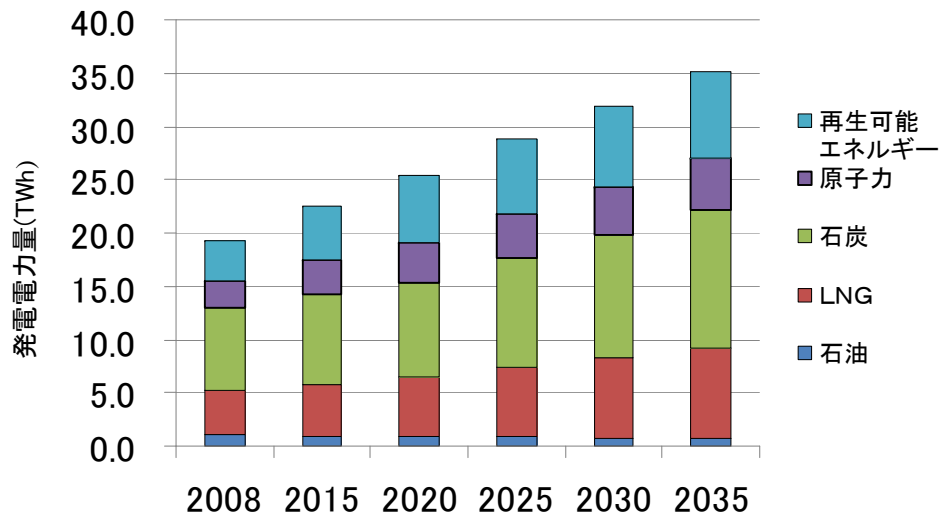
国内・海外別売上高(億円)



事業戦略・重点施策

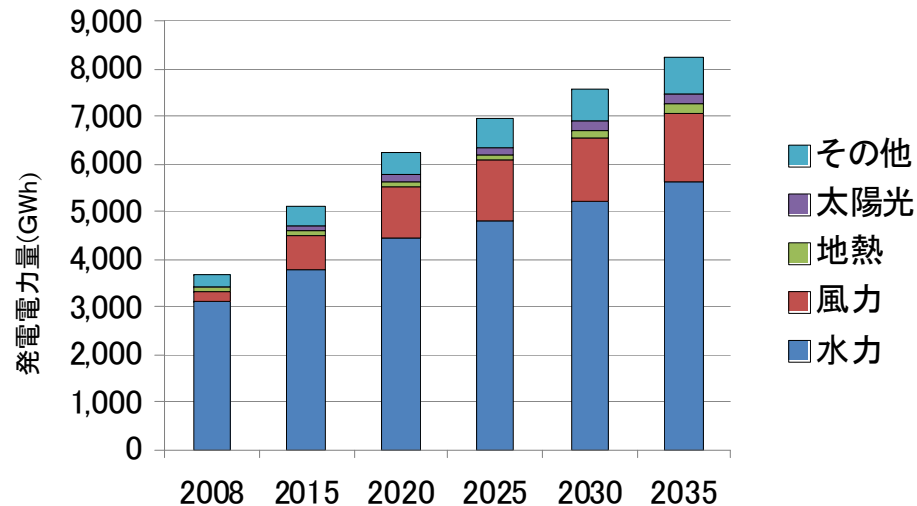
電力エネルギー需要の動向

世界の電力需要推移



出典: EIA International Energy Outlook 2011

再生可能エネルギーの推移

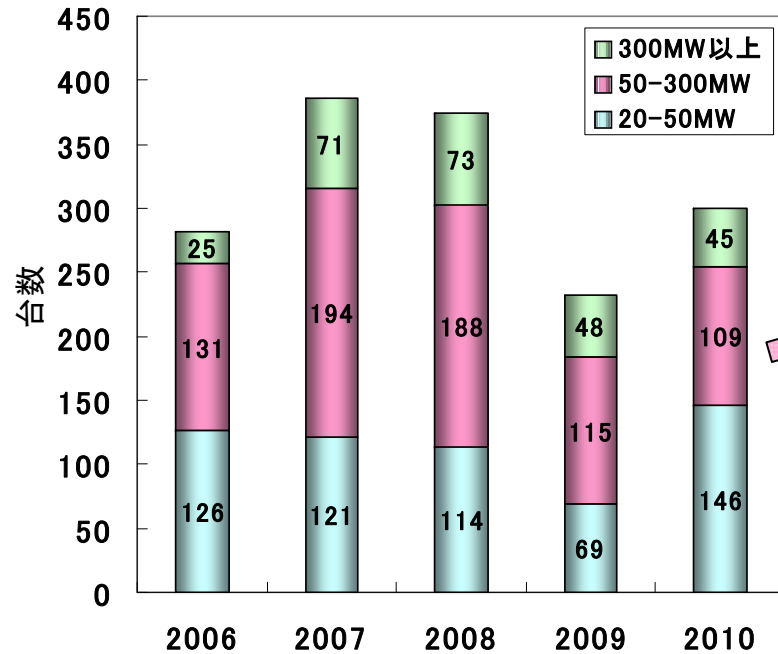


出典: EIA International Energy Outlook 2011

- 世界の電力需要は年率2.3%で伸び、発電設備の増強は続く
(OECD加盟国: 1.2%/年、OECD非加盟国: 3.3%/年)
- クリーンエネルギー社会を目指し、発電設備の高効率化、燃料転換、再生可能エネルギーの導入が進む
- 新エネルギーは年率3.1%で伸びる
(風力: 7.5%/年、地熱: 4.2%/年)

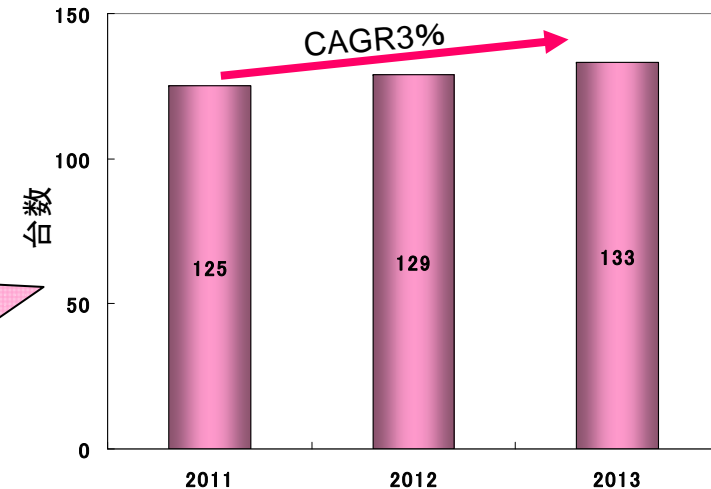
市場の動向(発電プラント)

世界の火力発電市場推移(除く中国)



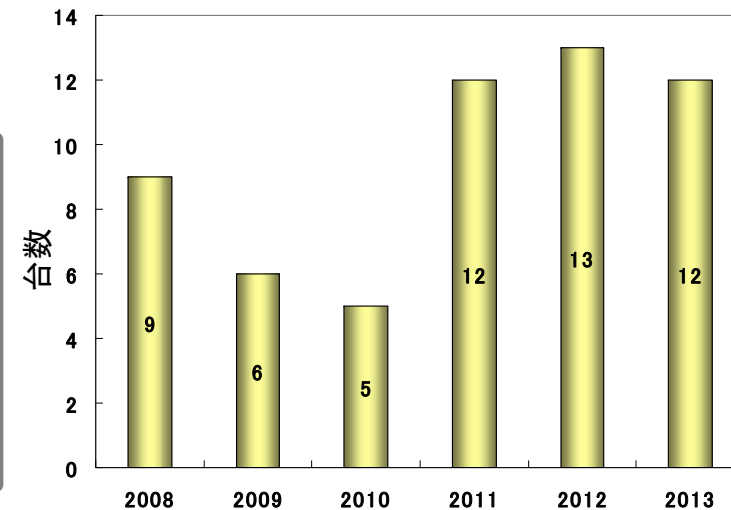
出典: McCoy Report

中容量火力 市場予測(除く中国)



出典: 当社予測

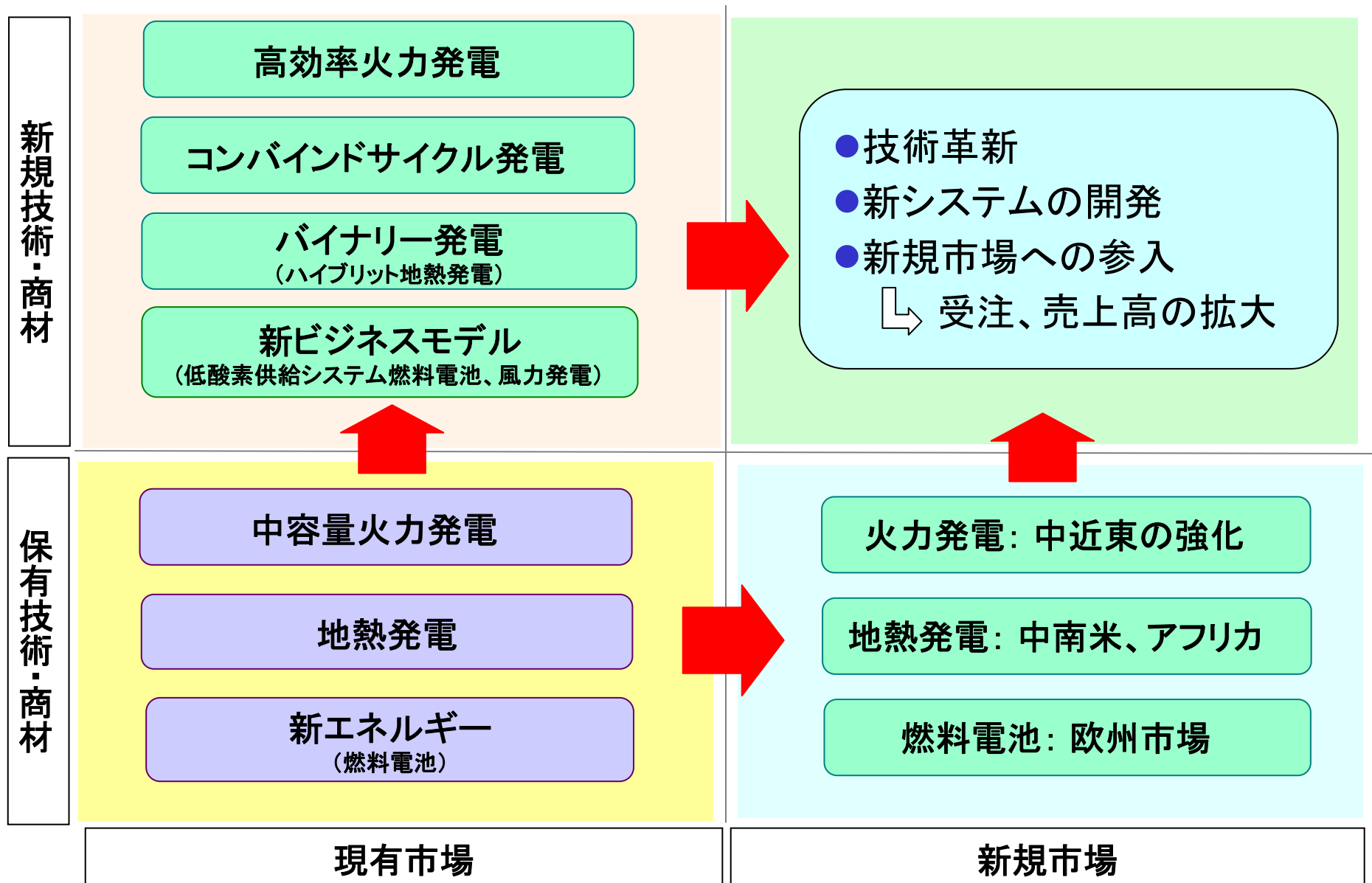
地熱発電 市場推移と予測



出典: 当社予測

- 中容量火力発電は年率3%の成長と予測
中近東、インドが拡大、欧州は減速
- 再生可能エネルギーの導入促進により地熱発電市場の動きが活発になると予測

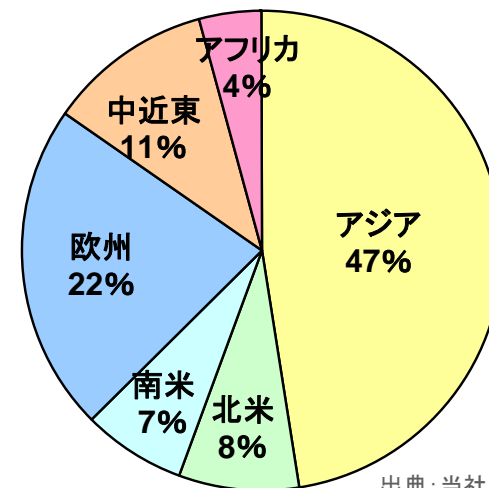
成長戦略(発電プラント)



中容量火力の技術革新と新規市場での受注拡大

- **市場の拡大-中近東への参入**
 - ・ パートナーとの連携強化
- **火力タービンの高効率化**
 - ・ 高温化技術の開発
- **大型コンバインドサイクルの強化**
 - ・ シーメンスとの連携強化
 - ・ CCPP用高効率蒸気タービン・発電機の開発
- **川崎工場の拡充、生産効率向上**
 - ・ 製造能力のアップ、生産革新
- **サービスビジネスの強化**
 - ・ サービス拠点の構築、顧客とのパートナーリング

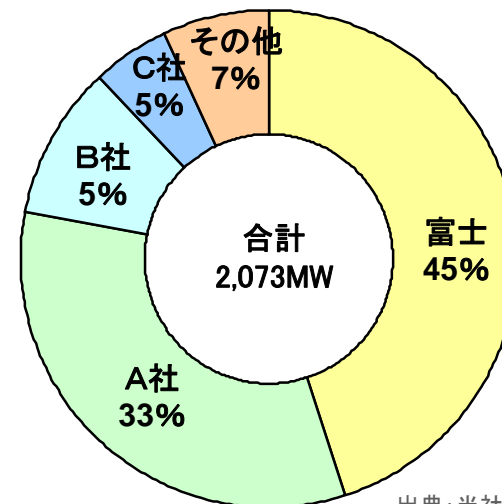
中容量火力 地域別需要予測
(2011年-2013年 除く中国)



世界シェア50%以上を目指す

- **新規市場への参入**
 - ・ 中南米、アフリカ
- **地熱タービン技術の開発**
 - ・ 高効率化、耐防食技術の開発
- **バイナリー発電システムの強化**
 - ・ 2,000kW-10,000kWのシリーズ化
- **新地熱発電システム**
 - ・ ハイブリッド地熱発電システム
- **ターンキービジネスの拡大**
 - ・ BOP*を含めたエンジニアリング力の強化

世界の地熱発電設備シェア
(2000年-2010年)



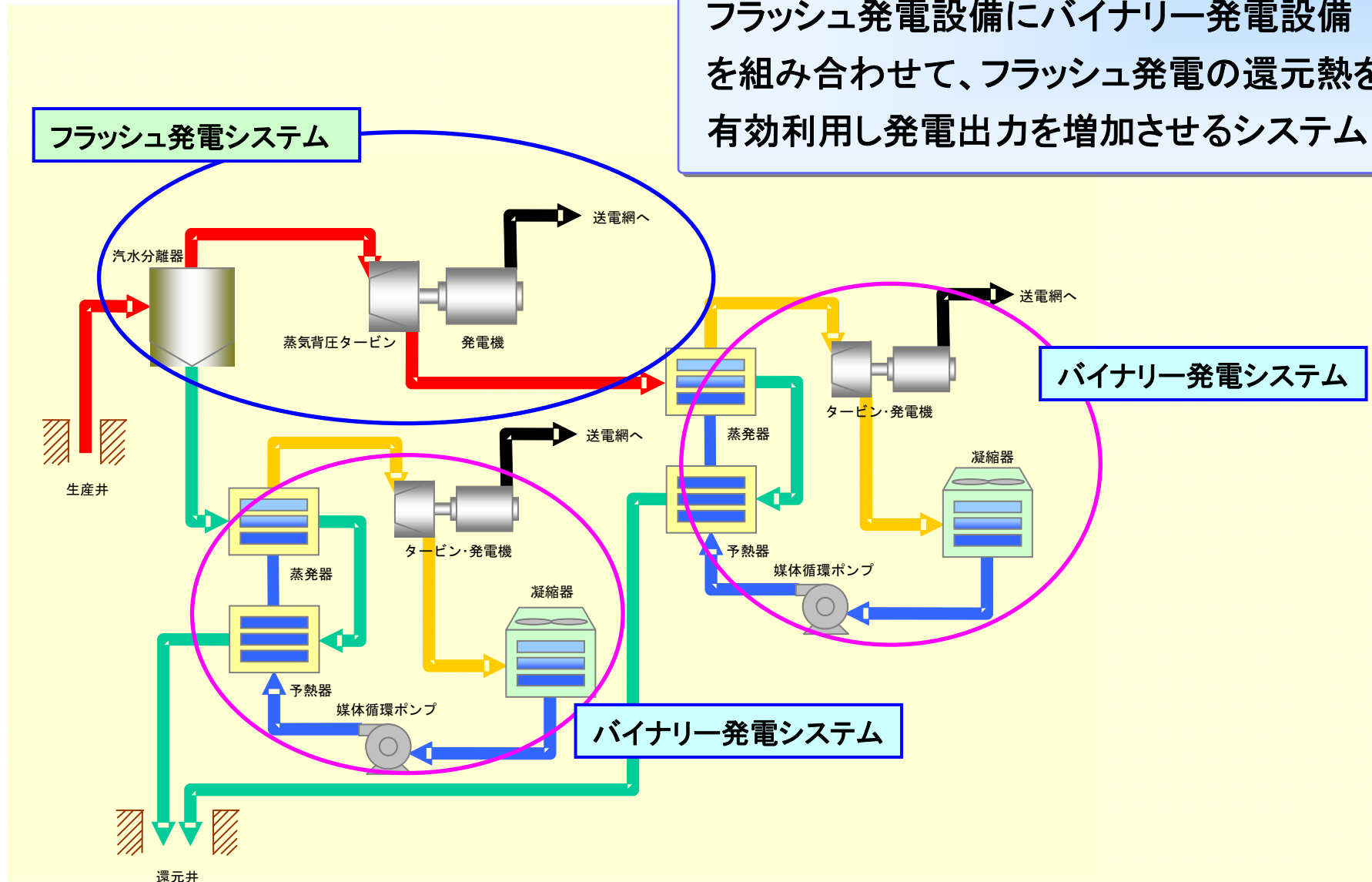
出典: 当社調べ



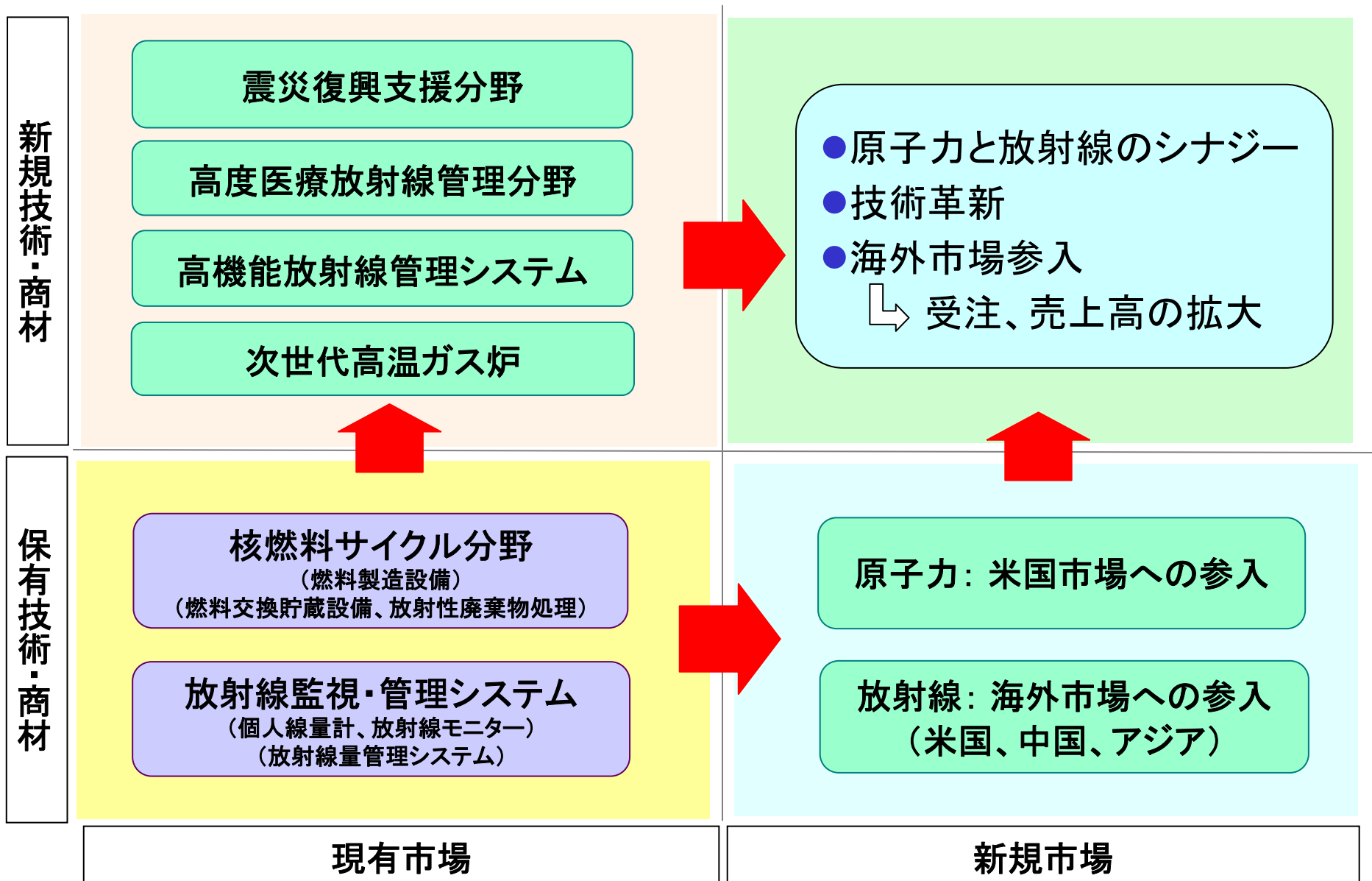
* BOP: Balance of Plant - プラント付帯設備

ハイブリッド地熱発電システム

フラッシュ発電設備にバイナリー発電設備を組み合わせて、フラッシュ発電の還元熱を有効利用し発電出力を増加させるシステム



成長戦略(原子力・放射線)



核燃料サイクル分野への注力と海外市場への参入

● 核燃料サイクル分野の継続的取組

- ・ J-Mox燃料製造設備
- ・ 廃炉技術の開発

● 海外市場への参入

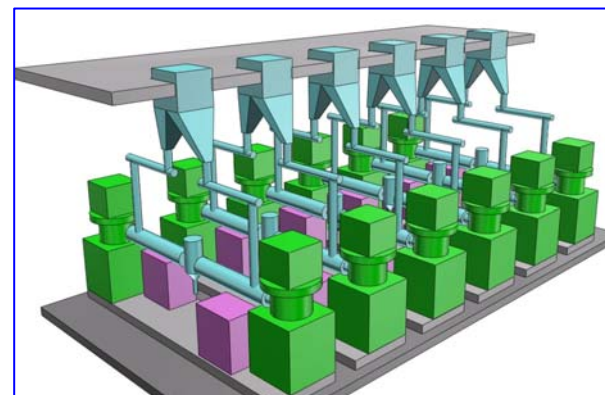
- ・ 海外仕様燃料取扱い装置、廃棄物処理設備
- ・ 米国メーカーとの協業

● 震災復興支援関連の強化

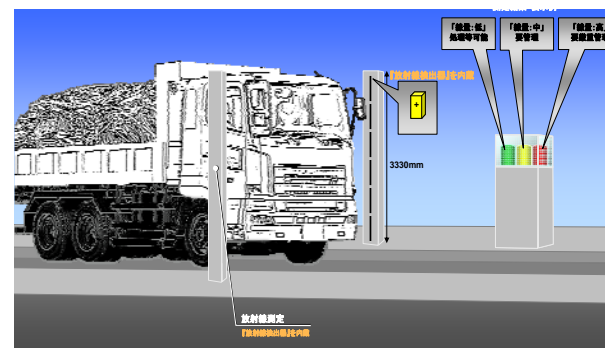
- ・ 除染作業関係設備の開発
- ・ 放射性廃棄物仕分け、弁別、減容処理

● 次世代高温ガス炉の開発

米国向け廃樹脂減容装置
(ICプラズマ減容装置)



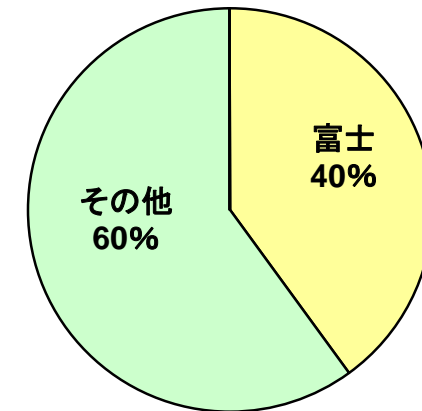
トラックモニター



震災復興支援の強化と海外市場の拡大

- **海外市場への参入**
 - ・ 米国、中国、アジアに注力
 - ・ 海外適用機種の開発
 - ・ 海外メーカーとの協業
- **震災復興支援関連の強化**
 - ・ 食品検査、個人線量管理システム
- **放射線管理・監視システムの高機能化**
 - ・ 高機能化、クラウド化
- **高度医療放射線管理システムの強化**

国内 放射線分野シェア
(2010年)



出典: 日本電気計測器工業会

食品放射線検査装置



注 記

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。